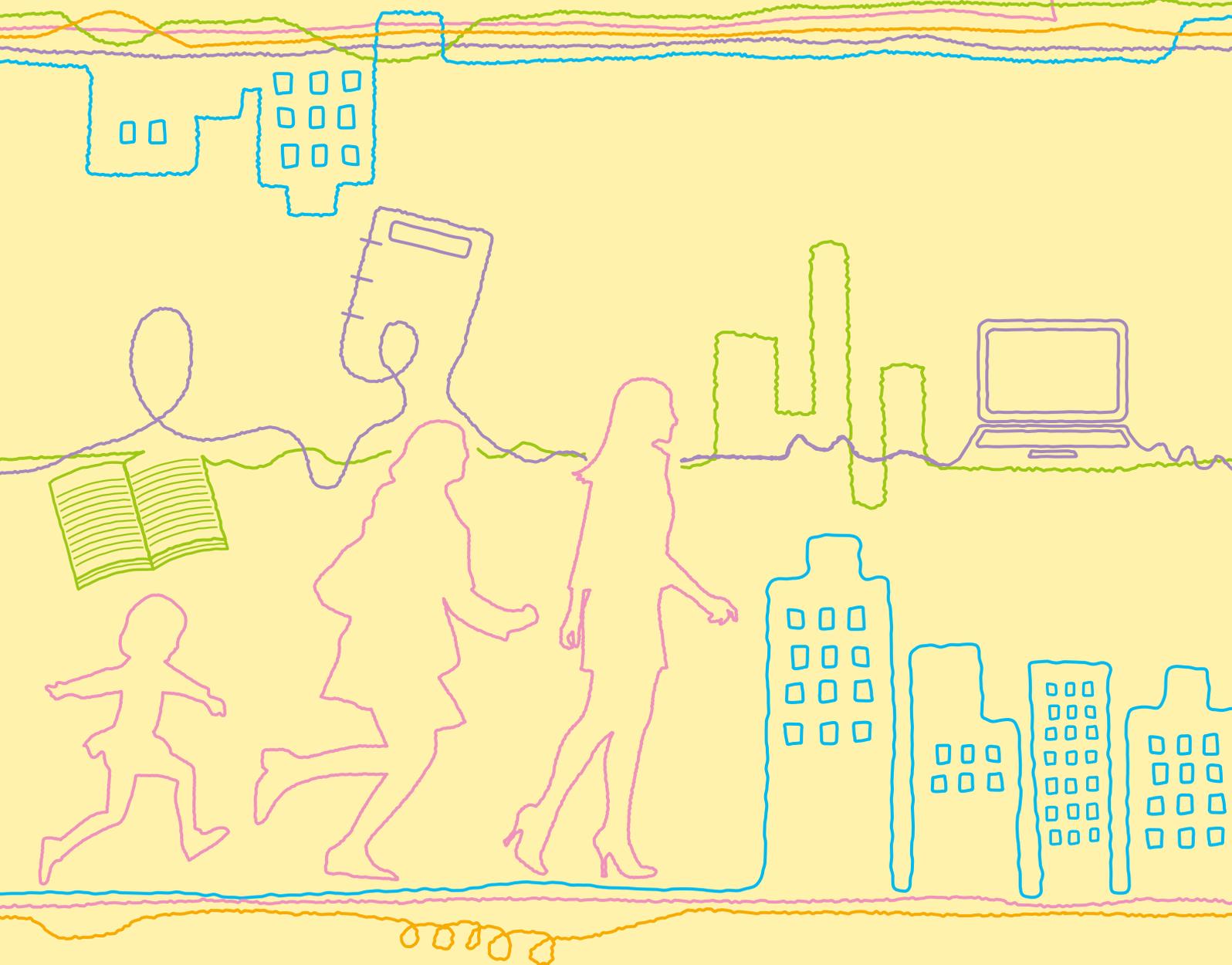


「くらす?はたらく?」どう考える?

調査結果を基にキャリアプランを考えよう



目次

調査結果	1
1 どこで働くことに決めたの？いつ決めたの？	1
2 どうやって職場を決めたの？	2
3 学生の仕事や生活に対する気持ち	3
1) 将来設計	3
2) 文化・地域に対する価値	3
3) 人とのつながり	4
4) 就職先選択で重視したこと	4
4 学生の仕事や生活に対する気持ちの違い	5
1) 県内・県外出身で、仕事や生活に対する気持ちが違うの？	5
2) 就職地と出身地が同じかどうかで、仕事や生活に対する気持ちが違うの？ ...	6
3) 就職予定職種で、仕事や生活に対する気持ちが違うの？	8
4) 性別で、仕事や生活に対する気持ちが違うの？	18
5 女性の就業イメージ	19
調査概要	20



調査結果

1 どこで働くことに決めたの？いつ決めたの？

就職地の上位3都県は、青森県629名(36.2%)、東京都219名(12.9%)、神奈川県105名(6.0%)でした。青森県外出身者は、就職先が出身地と同じ／異なるがほぼ同数でした。青森県出身者は、就職先が「出身地と同じ」回答者の方が多く、「無回答」も多くありました。

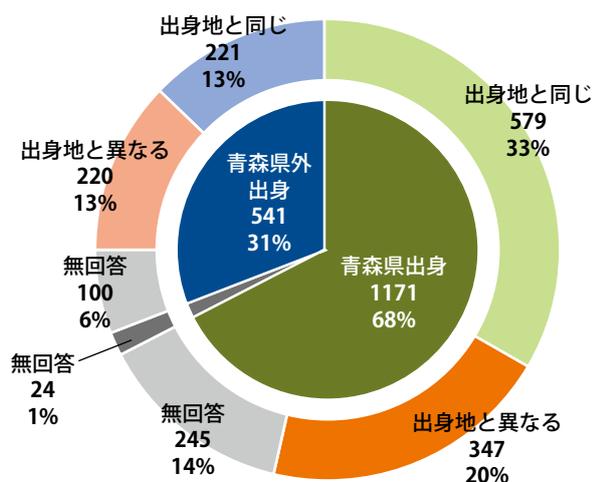


図1 就職地と出身地の関係

就職先を県内外のどちらにするかは、入学前に約3割(28.6%)が決めており、3年次までに6割以上が決めていました。

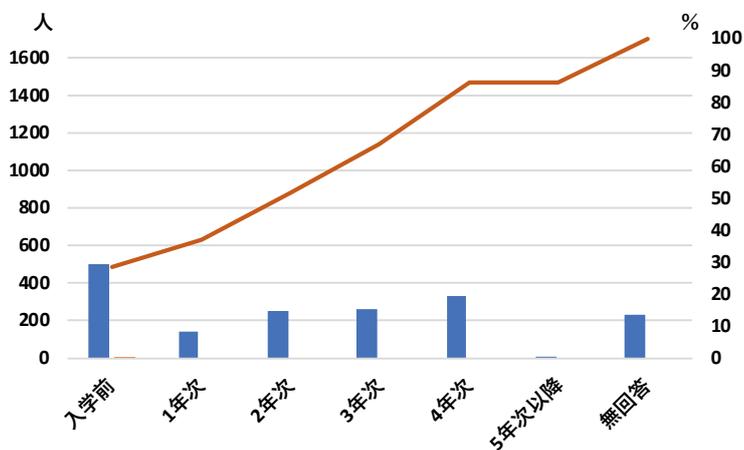


図3 就職先県内外の決定時期

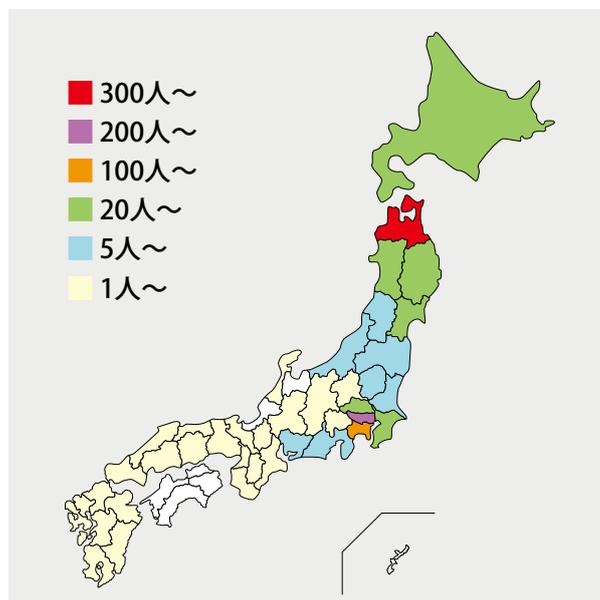


図2 就職地分布

将来の県内就職意向(県外就職者)と県外への異動希望(県内就職者)

県内出身・県外就職者347名のうち、将来県内での就職希望者は155名(44.7%)でした(参考2017年度20.4%)。戻らない理由としてあげられたのは、以下の通りでした。

- ・給料が安いから、仕事・就職先が少ないから、職場を変えたくない、不便だから、なにもないから、田舎だから、活気がないから、寒いから、都会がいいから、結婚するから、なるべく親元を離れたいから、まだわからない、特に考えていない、戻る理由がない

また、県内出身・県内就職者579名のうち、将来、県外への異動希望者は129名(22.3%)でした。県外に出たい理由は、やりたいことがある、いろいろなことを経験したい、出てみたい、でした(参考2017年度21.9%)。

2 どうやって職場を決めたの？

就職先選択で使用した情報源の数は、3件が最も多く（最少1，最大15，平均4.16），そのうち，重視した情報源で多かったのは，就職先のホームページ，就職説明会，大学にきている求人情報でした。

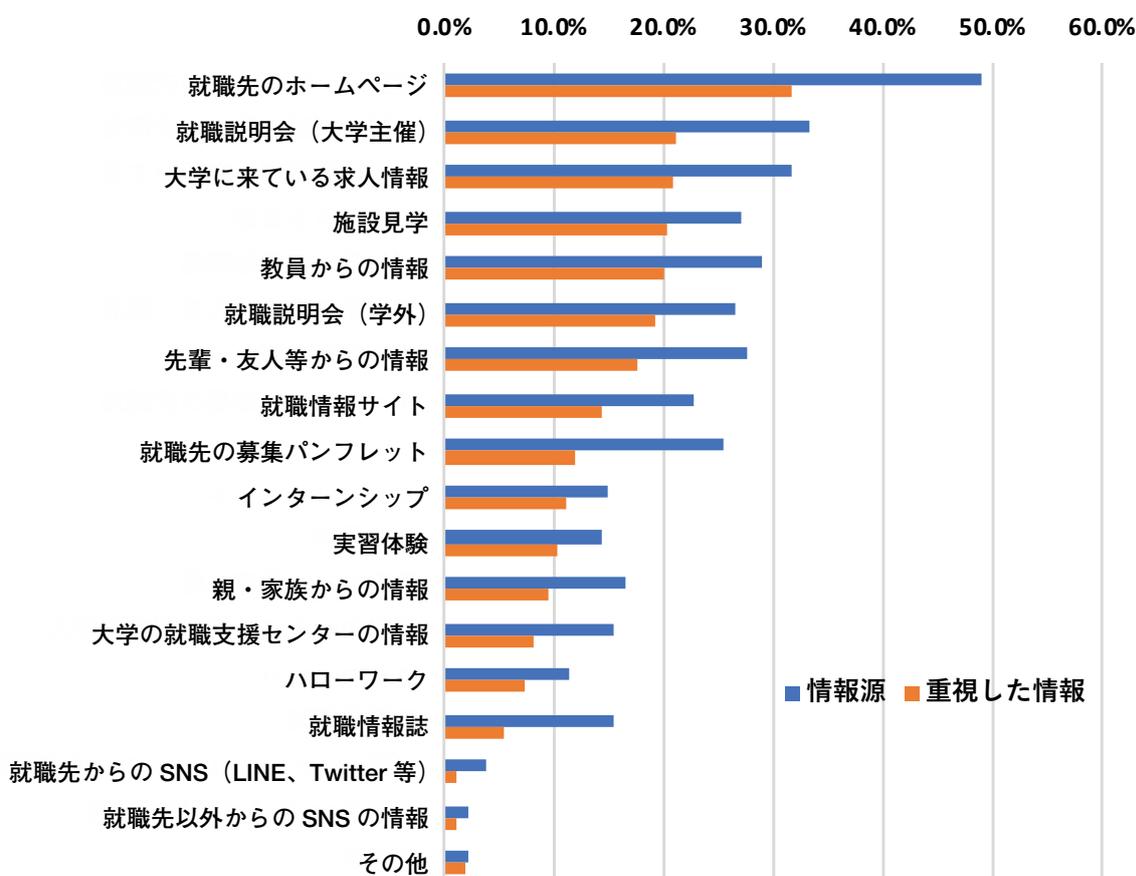


図4 就職先選択に使用した情報源（多重回答）と重視した情報源

インターンシップに参加した481名（のべ780件）のうち，インターンシップを単位制になっていると回答した者は，185名（38.5%）でした。インターンシップに参加した学生の所属は，多い順に，看護学科等179名（53.8%），工学系学科124名（37.2%），経営・経済学科等50名（15.0%）でした。インターンシップに行った学生が最も重視した情報源は，「インターンシップ（33.0%）」でした。インターンシップに行かなかった理由は，「行きたい就職先にインターンシップがない」「時間がない」「時間・機会がない」などでした。

3 学生の仕事や生活に対する気持ち

仕事や生活についての考え方について、すべての項目に回答した者（n=1,459）の結果です。

1) 将来設計

将来設計は、「趣味・私生活の充実させたい」「子どもと過ごす時間を確保したい」「広く社会を見たい」が多い結果でした。

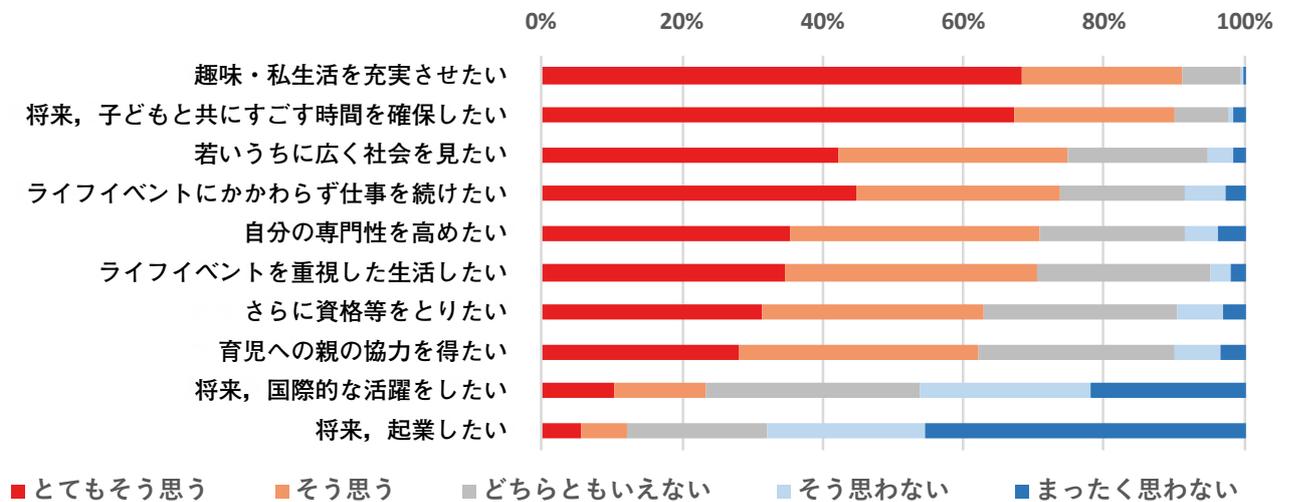


図5 将来設計についての考え方

2) 文化・地域に対する価値

文化・地域に対する価値で強く意識していることの上位は、「地元は落ち着く」「都会は便利だ」「地元を愛している」などであり、地元への愛着がありつつも、都会に対する価値も高い結果でした。

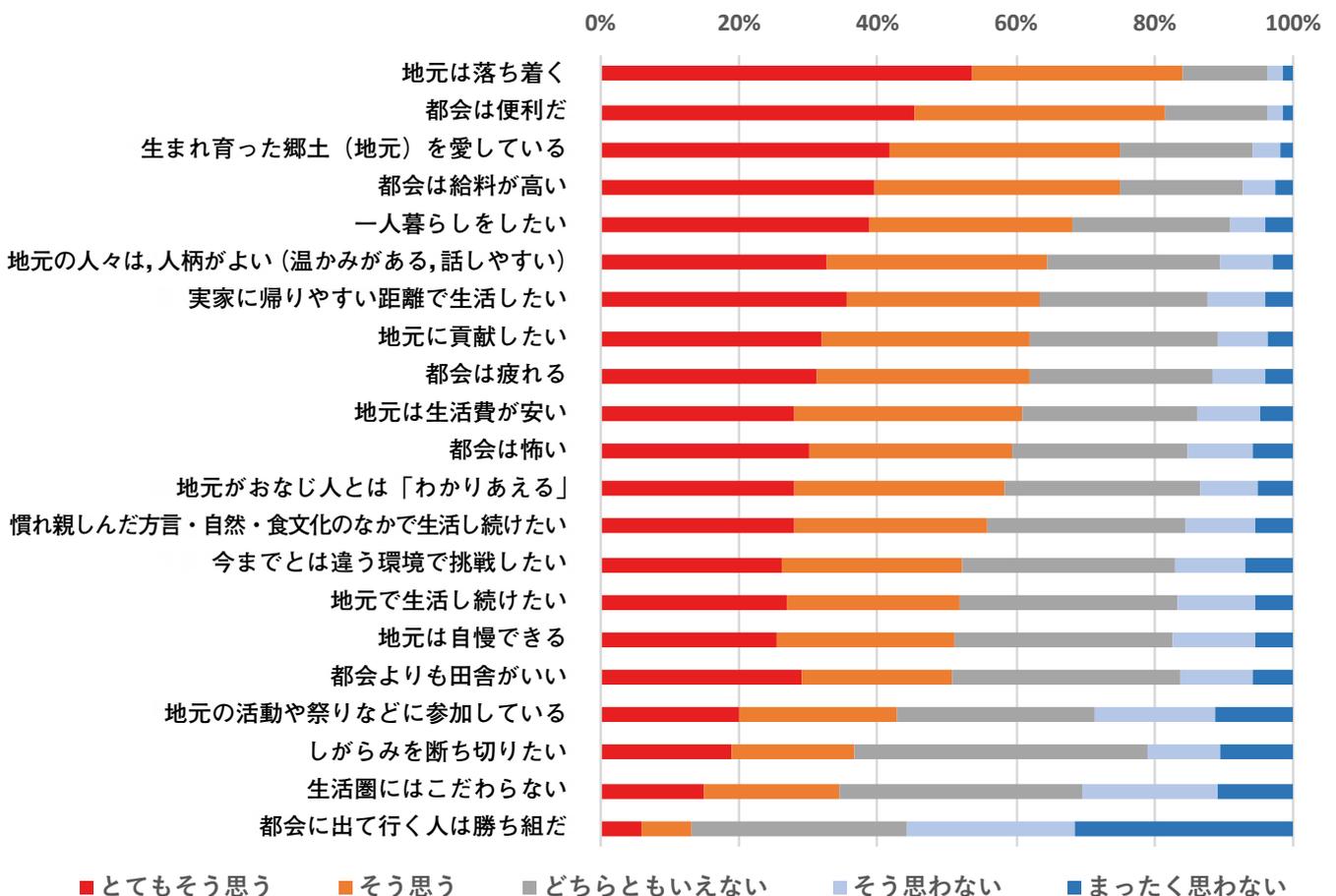


図6 文化・地域に対する価値についての考え方

3) 人とのつながり

人とのつながりは、「家族に恩返ししたい」「同郷者といると安心できる」「家族を経済的に支援したい」が上位でした。

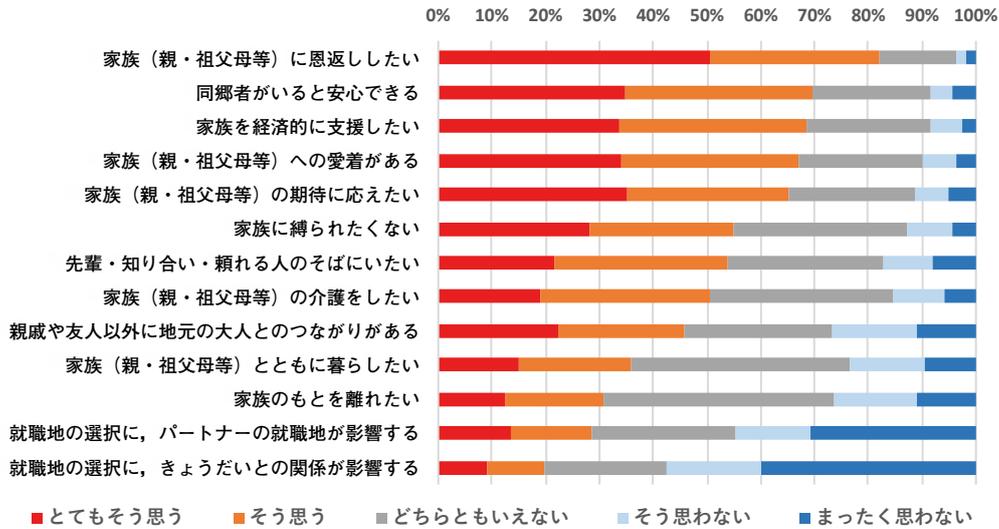


図7 人とのつながりについての考え方

4) 就職先選択で重視したこと

就職先選択で重視したことは、「正規職員として採用される」「やりたい仕事ができる」「安定している」の順に高い結果でした。

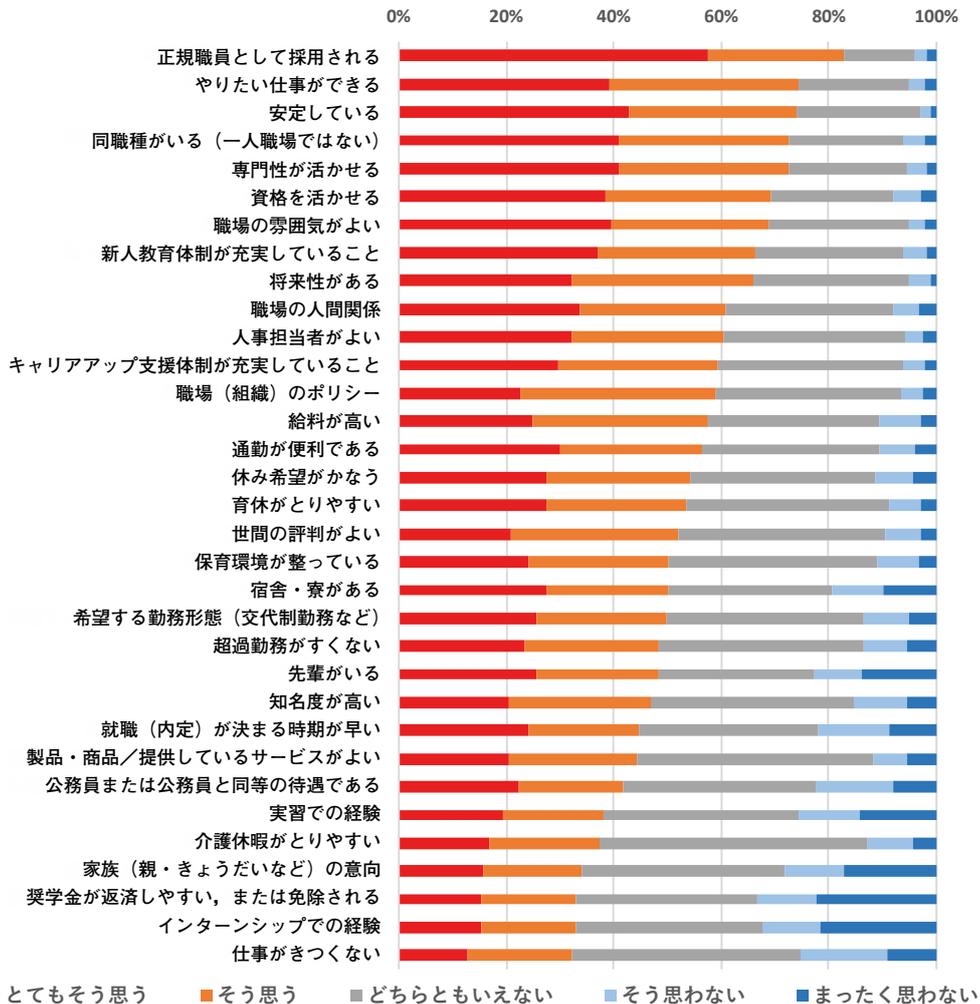


図8 就職先選択で重視したこと

4 学生の仕事や生活に対する気持ちの違い

1) 県内・県外出身で、仕事や生活に対する気持ちが違うの？

県内出身者と県外出身者で仕事や生活に対する気持ちに違いがあった ($p < .05$) のは、図のとおりです。県内出身者の方が強くそう思っていることは、「都会は給料が高い」「同職種がいる（一人職場ではない）」「同郷者がいると安心できる」など、13項目でした。逆に、県外出身者が強くそう思っていることは、「正規職員として採用される」「ライフイベントを重視した生活がしたい」「安定している」「地元は自慢できる」でした。

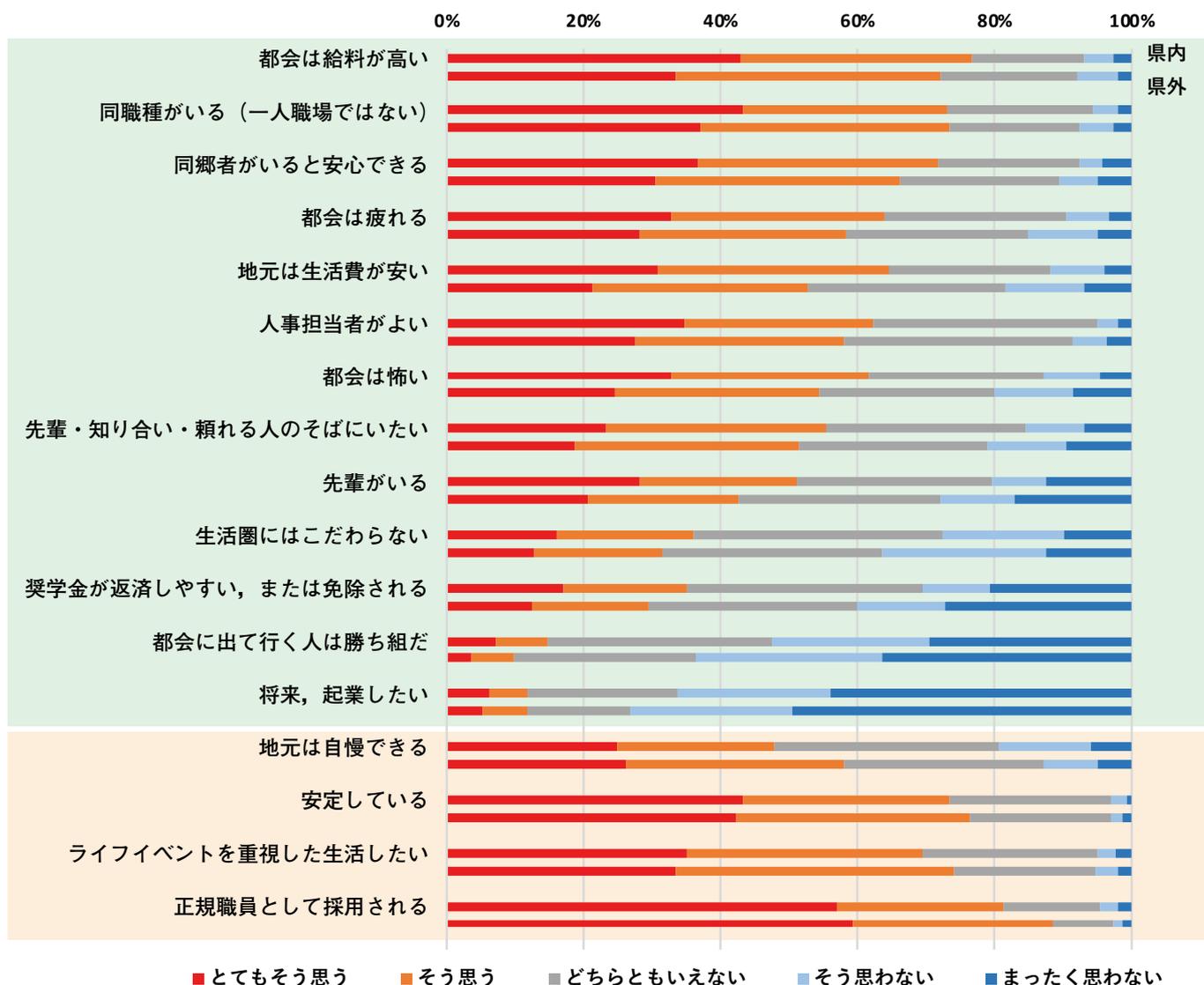


図9 出身地（県内／県外）による仕事や生活に対する気持ちの違い

2) 就職地と出身地が同じかどうかで、仕事や生活に対する気持ちが違うの？

就職地と出身地が同じかどうかによる仕事と生活についての考え方は、21項目で考え方が違っていました ($p < .05$)。

出身地に就職する者は、「地元で生活し続けたい」「実家に帰りやすい距離で生活したい」「慣れ親しんだ文化の中で生活したい」などにそう思うと回答していました。

出身地外に就職する者は、「いままでとは違う環境で挑戦したい」「一人暮らしをしたい」「若いうちに広く社会を見たい」などにそう思うと回答していました。

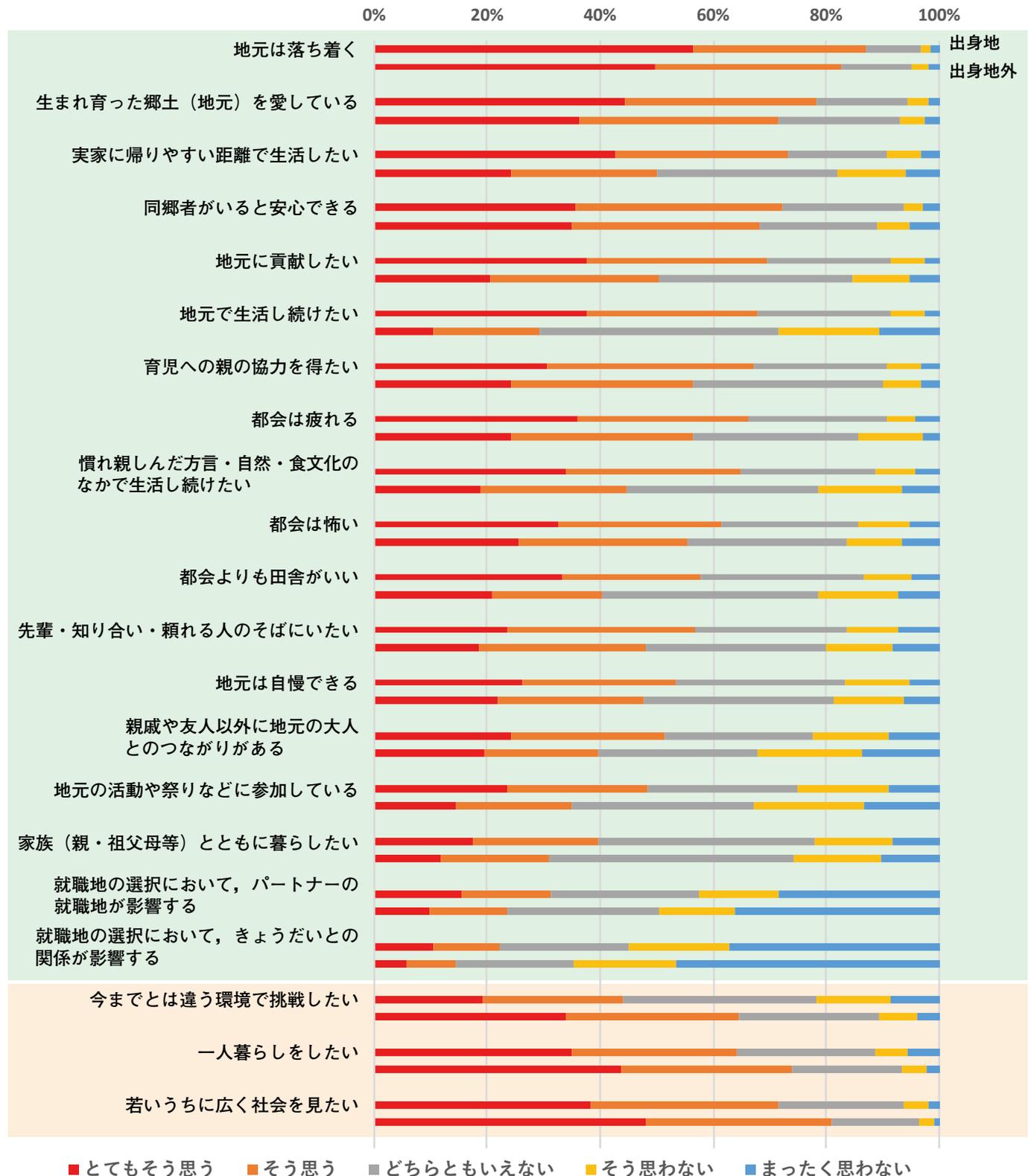


図 10 就職地と出身地の関係(出身地/出身地外就職)による仕事や生活に対する気持ちの違い

また、就職先選択で重視することは、11項目で違っていました。

出身地に就職する者は、「通勤が便利である」「家族の意向」にそう思うと回答しており、出身地内外就職に就職する者は、「正規職員としての採用」「新人教育体制が充実している」「宿舍・寮がある」などにそう思うと回答していました。

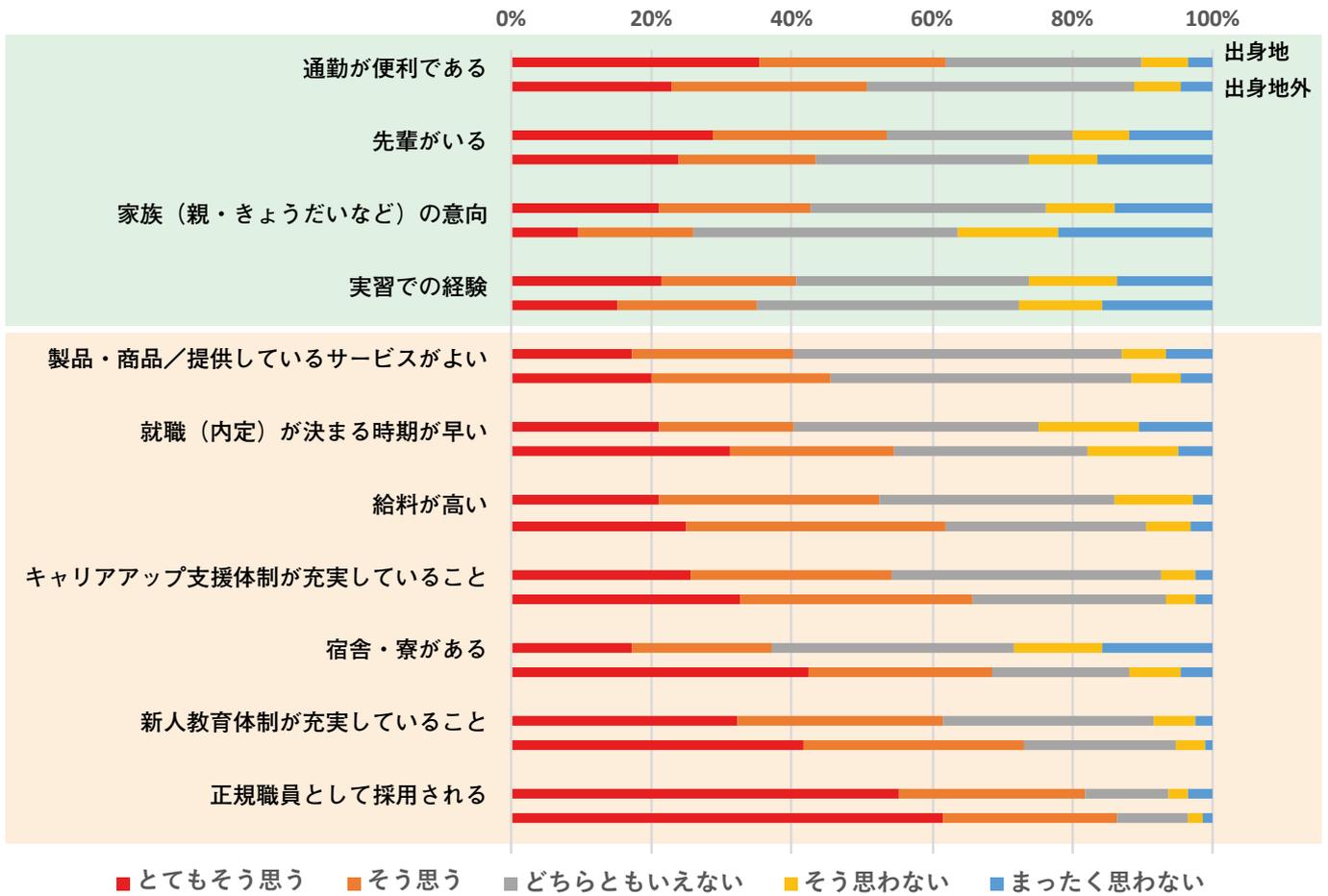


図 11 就職地と出身地の関係（出身地／出身地外就職）による就職先選択で重視したことの違い

3) 就職予定職種で、仕事や生活に対する気持ちが違うの？

【将来設計】

医療・福祉職

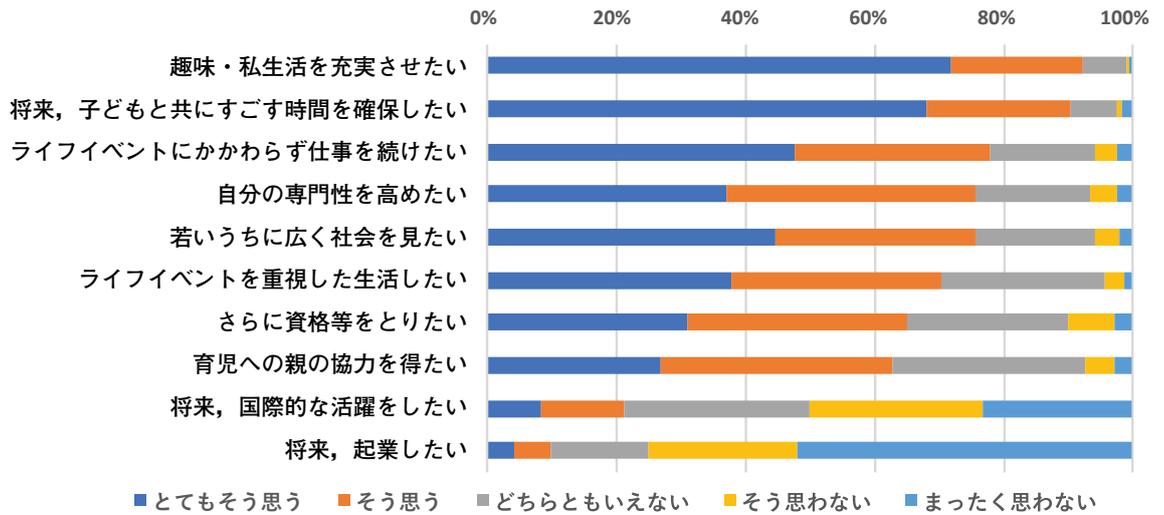


図 12-1 将来設計についての考え方（医療・福祉職 n = 534 男 129, 女 401）

栄養関係職

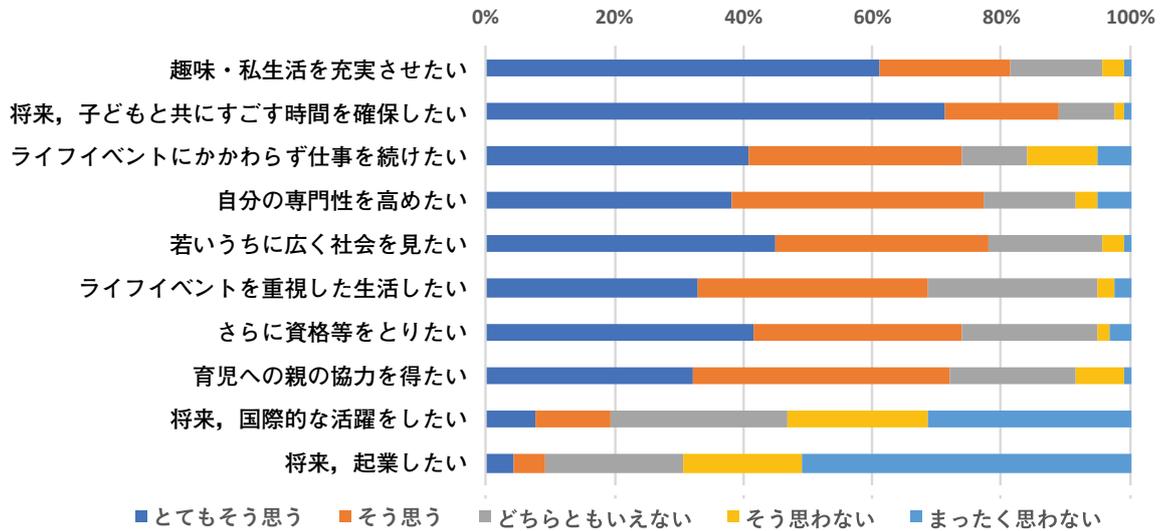


図 12-2 将来設計についての考え方（栄養関係職 n = 119 男 4, 女 109）

教育・保育職

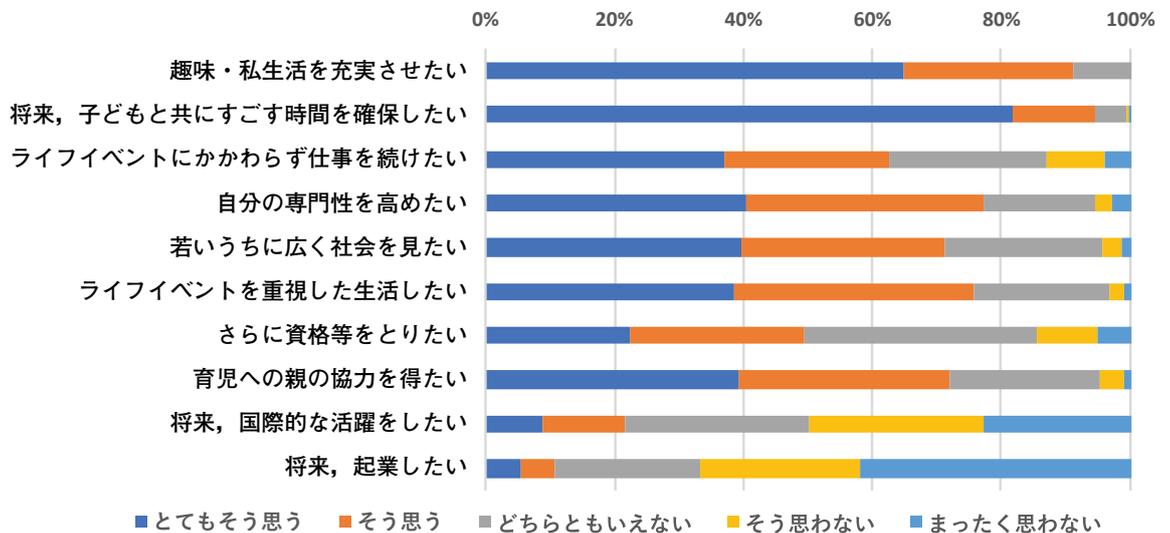


図 12-3 将来設計についての考え方（教育・保育職 n = 332 男 27, 女 299）

事務・行政職

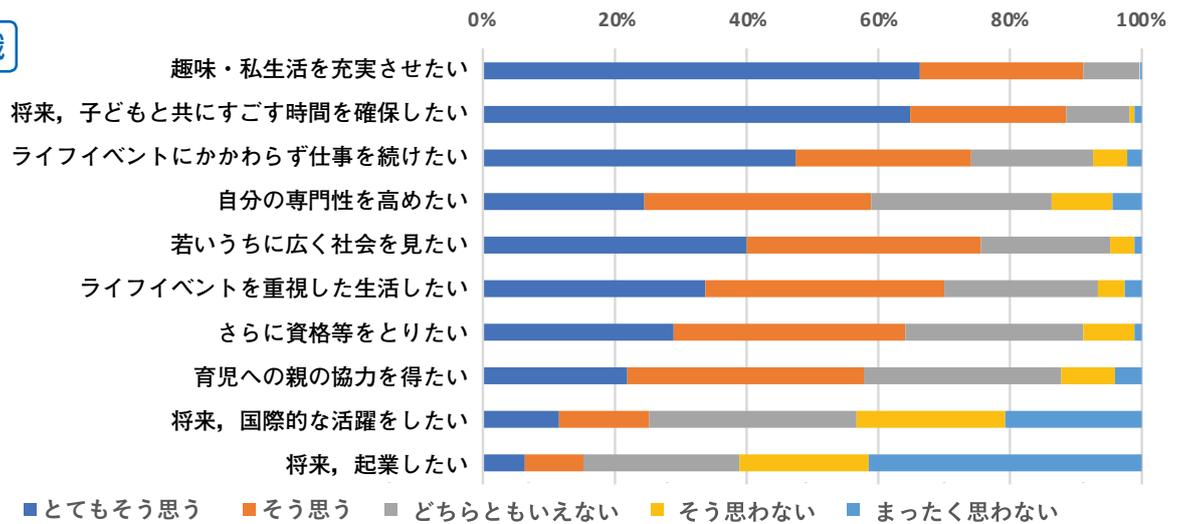


図 12-4 将来設計についての考え方（事務・行政・サービス職 n = 312 男 160, 女 147）

技術職

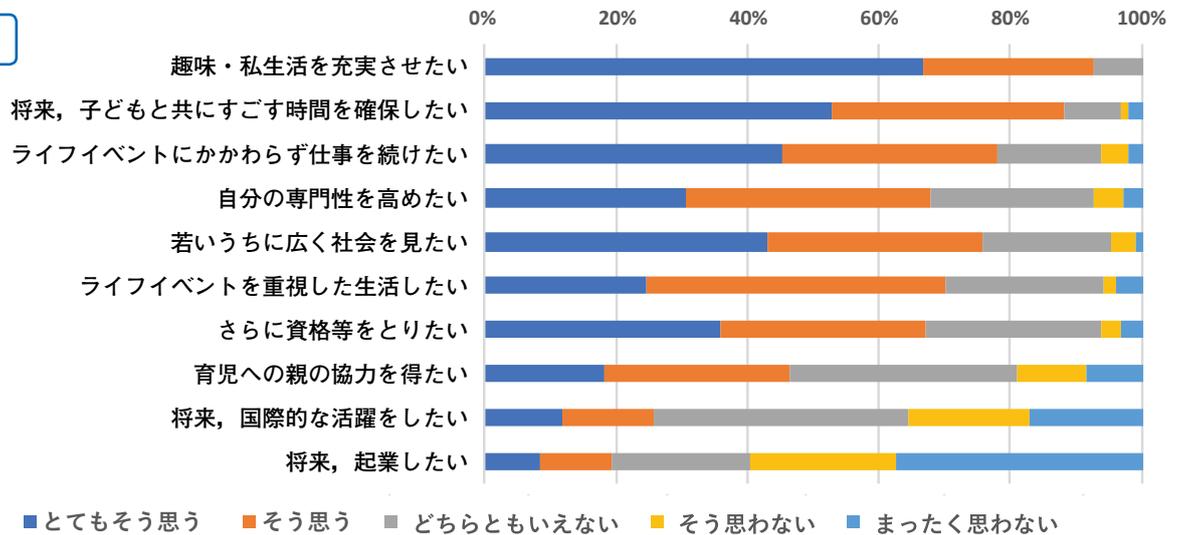


図 12-5 将来設計についての考え方（技術職 n = 207 男 163, 女 41）

就職を予定している職種により、仕事や生活に関する考え方は違いました。将来設計では、10項目中9項目で明らかな違いがありました。

どの職種も、「趣味・私生活を充実させたい」「将来、子どもと共に過ごす時間を確保したい」が上位でしたが、栄養関係、教育・保育職は「将来、子どもと共に過ごす時間を確保したい」気持ちが最も強く、「育児への親の協力を得たい」も他の職種に比べ高くなっていました。また、教育・保育職は、「ライフイベントにかかわらず仕事を続けたい」「さらに資格を取りたい」が低くなっていました。

【地域・文化に対する価値】

医療・福祉職

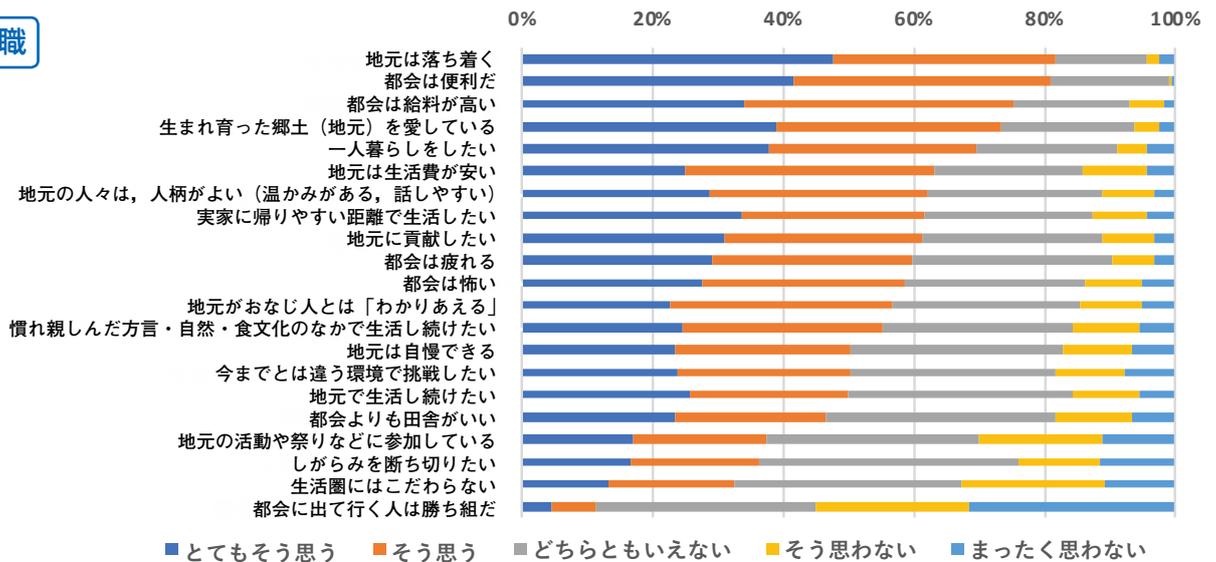


図 13-1 地域・文化に対する価値（医療・福祉職 n = 534 男 129, 女 401）

栄養関係職

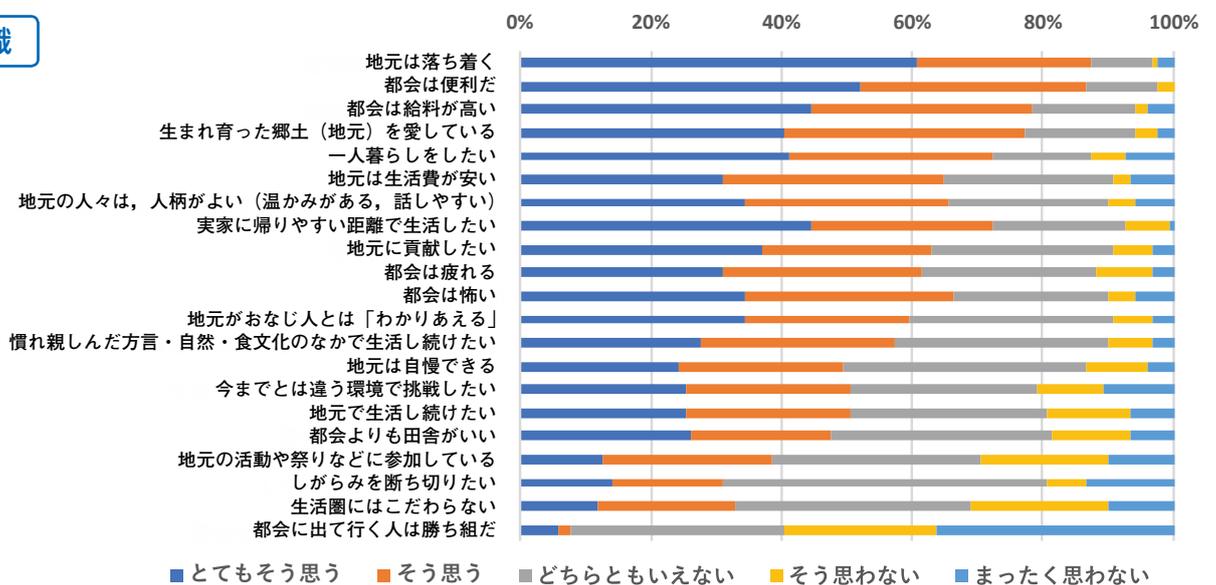


図 13-2 地域・文化に対する価値（栄養関係職 n = 119 男 4, 女 109）

教育・保育職

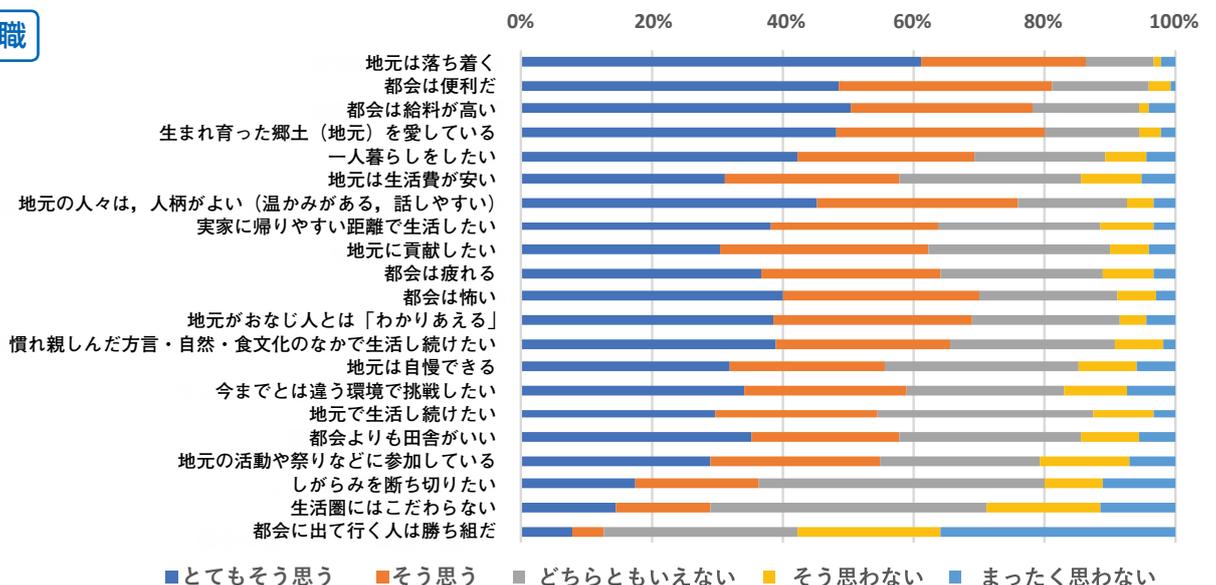


図 13-3 地域・文化に対する価値（教育・保育職 n = 332 男 27, 女 299）

事務・行政職

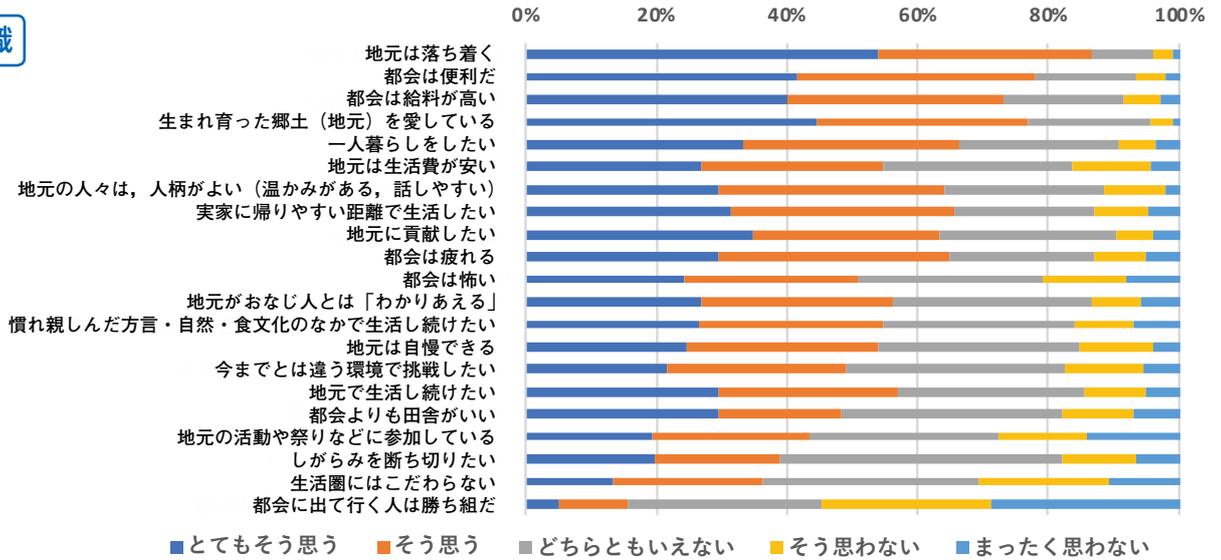


図 13-4 地域・文化に対する価値（事務・行政・サービス職 n = 312 男 160, 女 147）

技術職

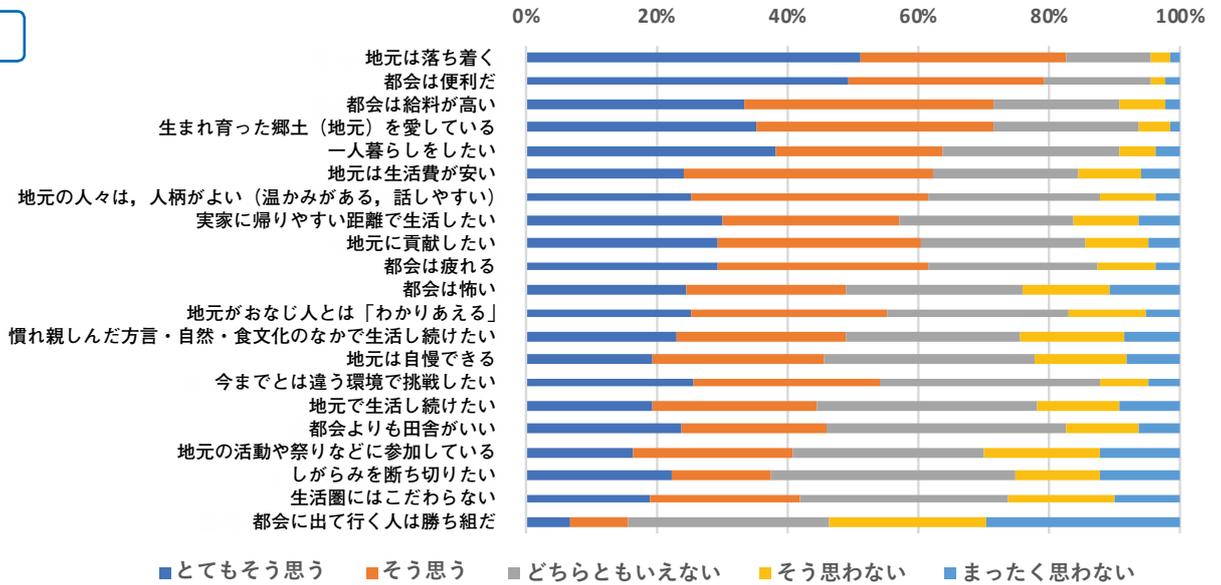


図 13-5 地域・文化に対する価値（技術職 n = 207 男 163, 女 41）

地域・文化に対する価値では、21項目中13項目で違いがありました。「地元は落ち着く」「地元を愛している」と同時に、「都会は便利だ」「都会は給料が高い」と感じていました。

教育・保育職は、「地元の人々は、人柄がよい」と思っており、地元に対する価値が高い結果でした。

【人とのつながり】

医療・福祉職

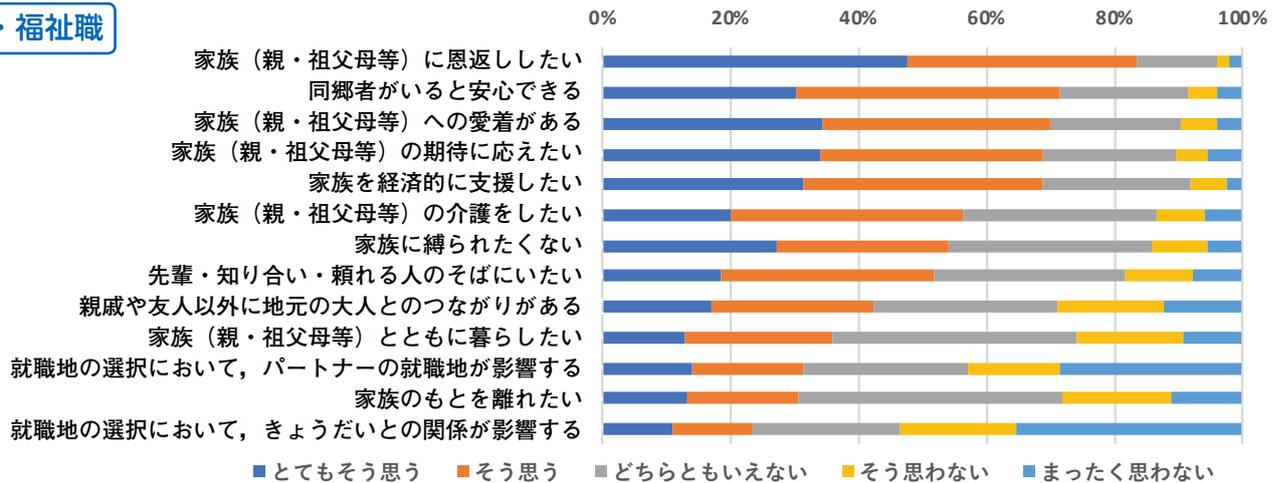


図 14-1 人とのつながり（医療・福祉職 n = 534 男 129, 女 401）

栄養関係職

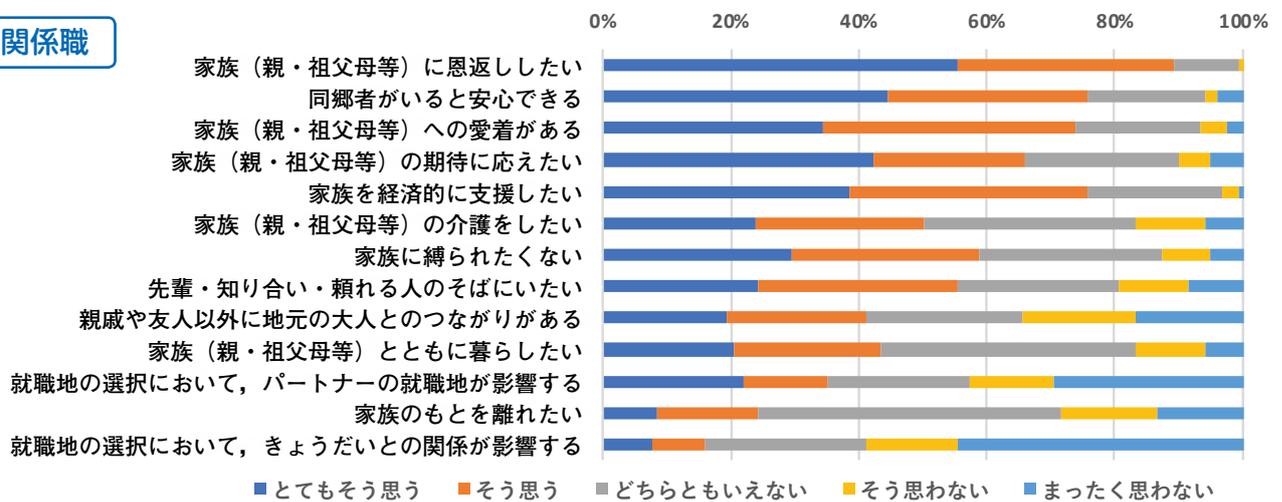


図 14-2 人とのつながり（栄養関係職 n = 119 男 4, 女 109）

教育・保育職

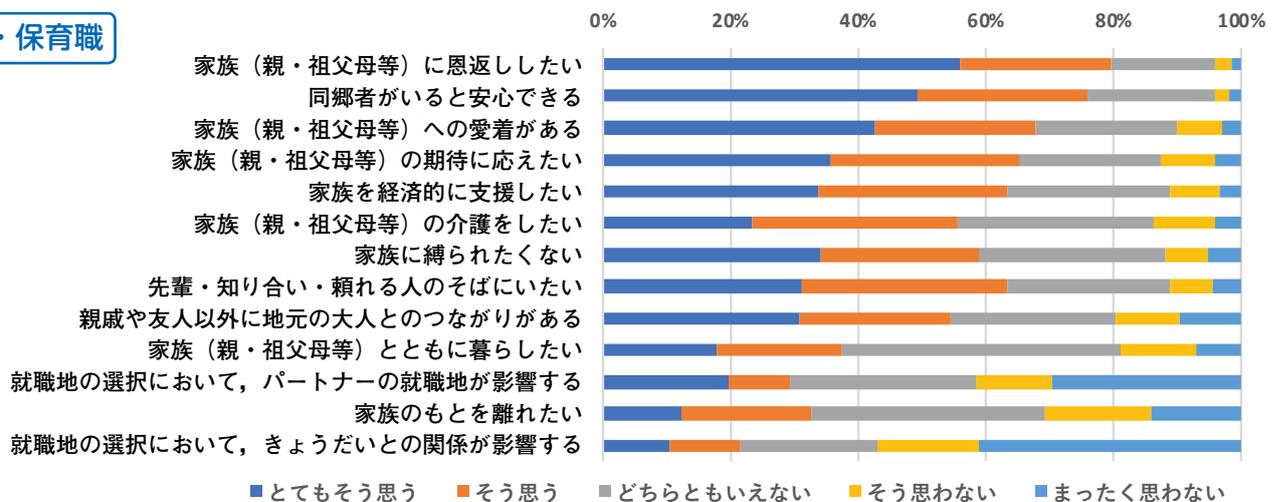


図 14-3 人とのつながり（教育・保育職 n = 332 男 27, 女 299）

事務・行政職

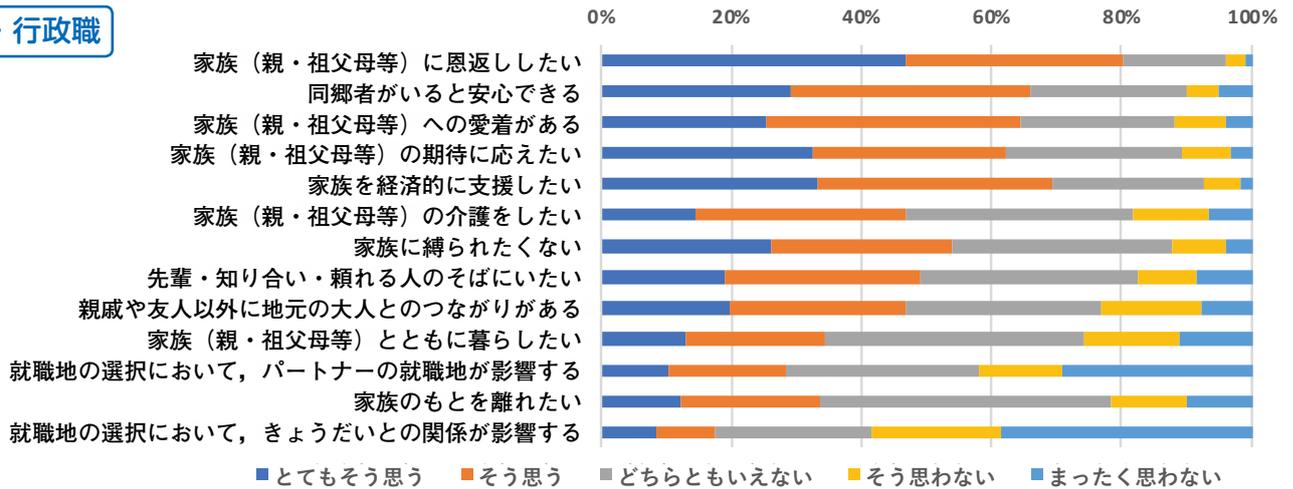


図 14-4 人とのつながり（事務・行政・サービス職 n = 312 男 160, 女 147）

技術職

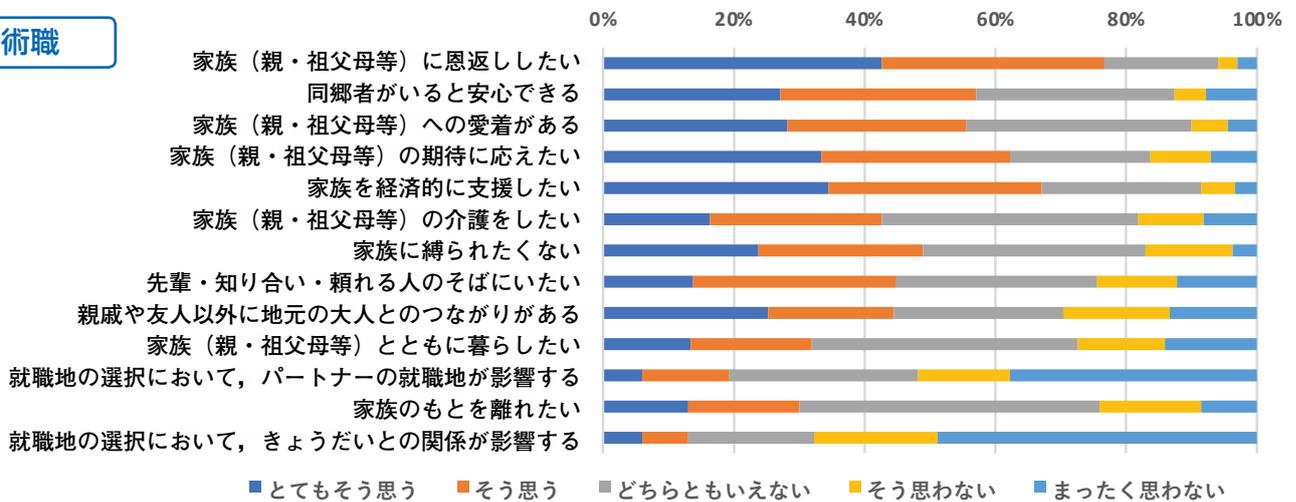


図 14-5 人とのつながり（技術職 n = 207 男 163, 女 41）

人とのつながりでは、13項目中9項目で違いがありました。みな、「家族に恩返ししたい」と強く思っていました。

教育・保育は「頼れる人のそばにいたい」気持ち強い傾向にありました。栄養関係職、事務・行政職、技術職は、「家族を経済的に支援したい」気持ち強い一方で、「家族の介護をしたい」気持ちは低めでした。

【就職先選択で重視したこと】

医療・福祉職

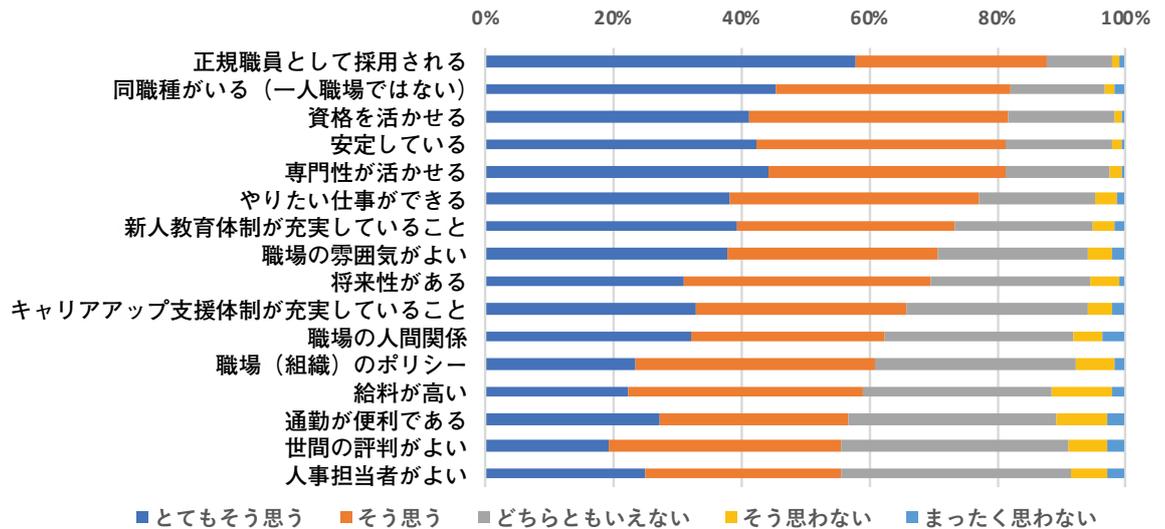


図 15-1 就職先選択で重視したこと 1（医療・福祉職 n = 534 男 129, 女 401）

栄養関係職

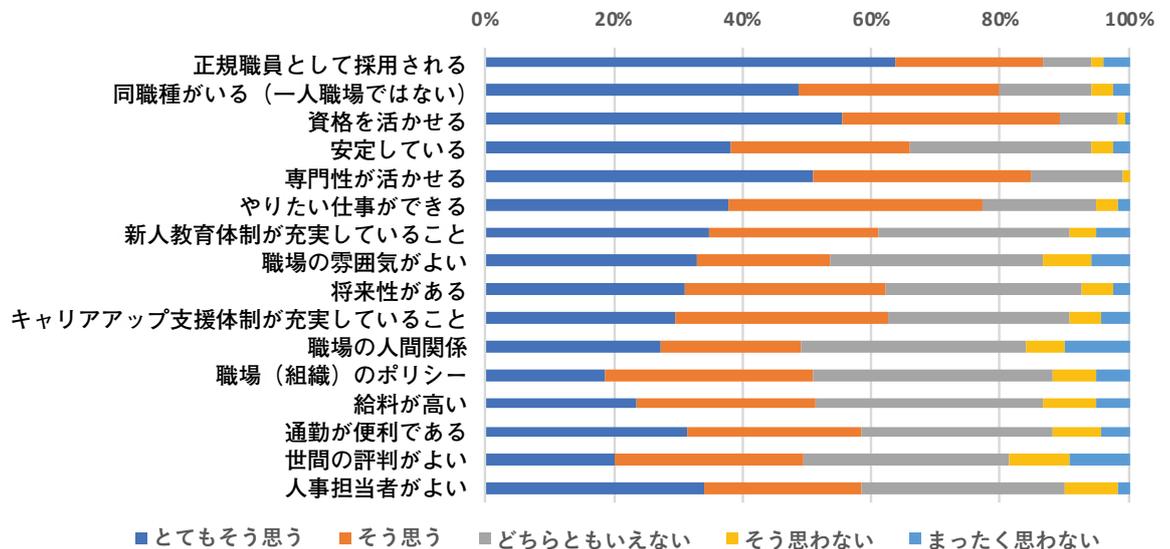


図 15-2 就職先選択で重視したこと 1（栄養関係職 n = 119 男 4, 女 109）

教育・保育職

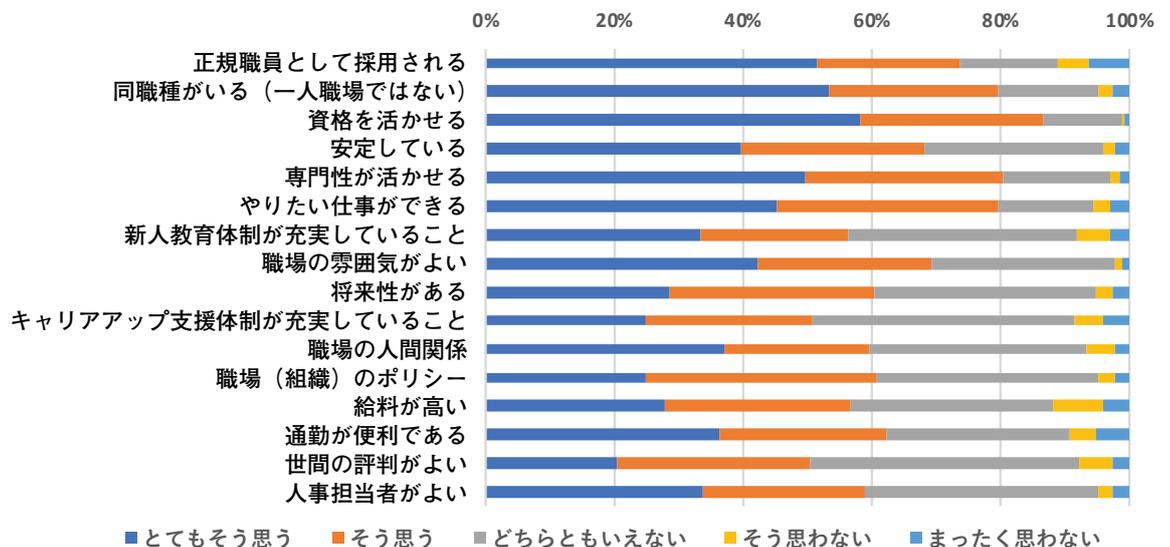


図 15-3 就職先選択で重視したこと 1（教育・保育職 n = 332 男 27, 女 299）

事務・行政職

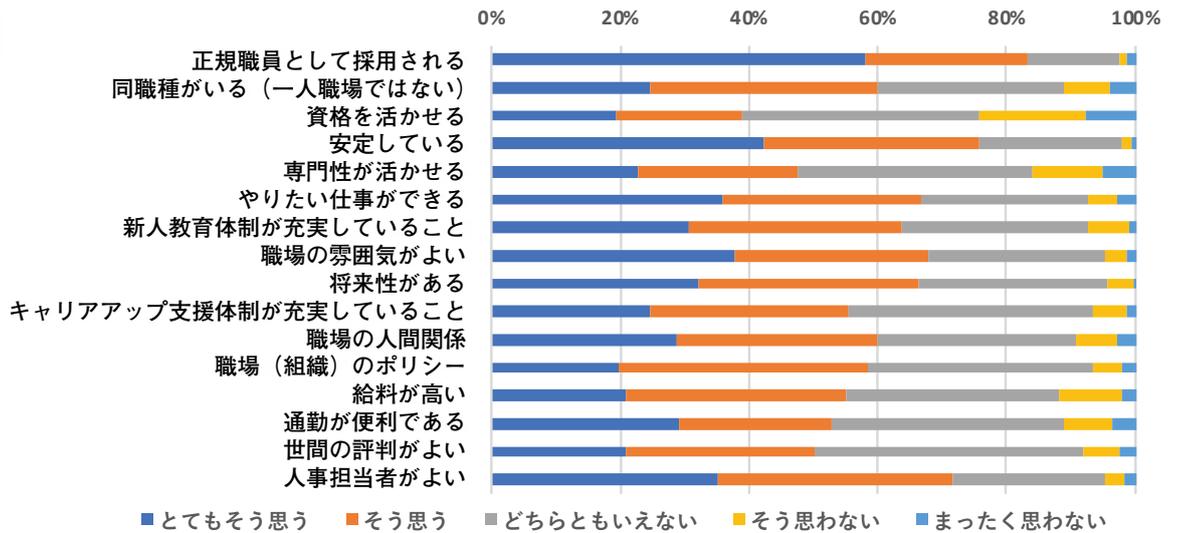


図 15-4 就職先選択で重視したこと1（事務・行政・サービス職 n = 312 男 160, 女 147）

技術職

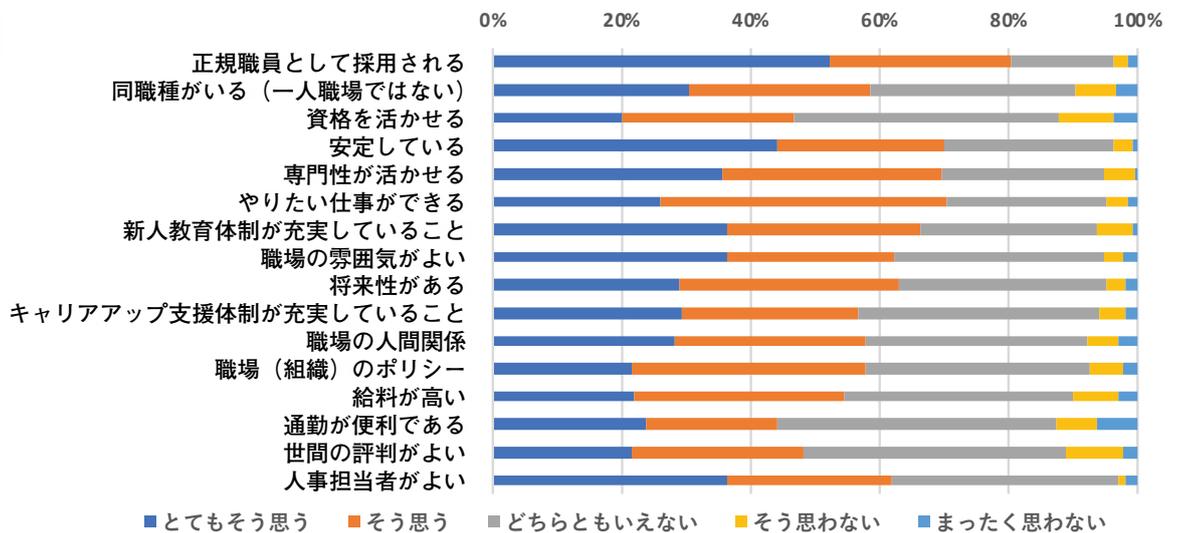


図 15-5 就職先選択で重視したこと1（技術職 n = 207 男 163, 女 41）

就職先選択で重視したことでは、33 項目中 22 項目で違いがありました。医療・福祉職，栄養関係職，教育・保育職は、「正規職員として採用される」「資格を活かせる」「専門性が活かせる」が上位でした。

事務・行政職，技術職は、「人事担当者がよい」ことを重視していました。

医療・福祉職

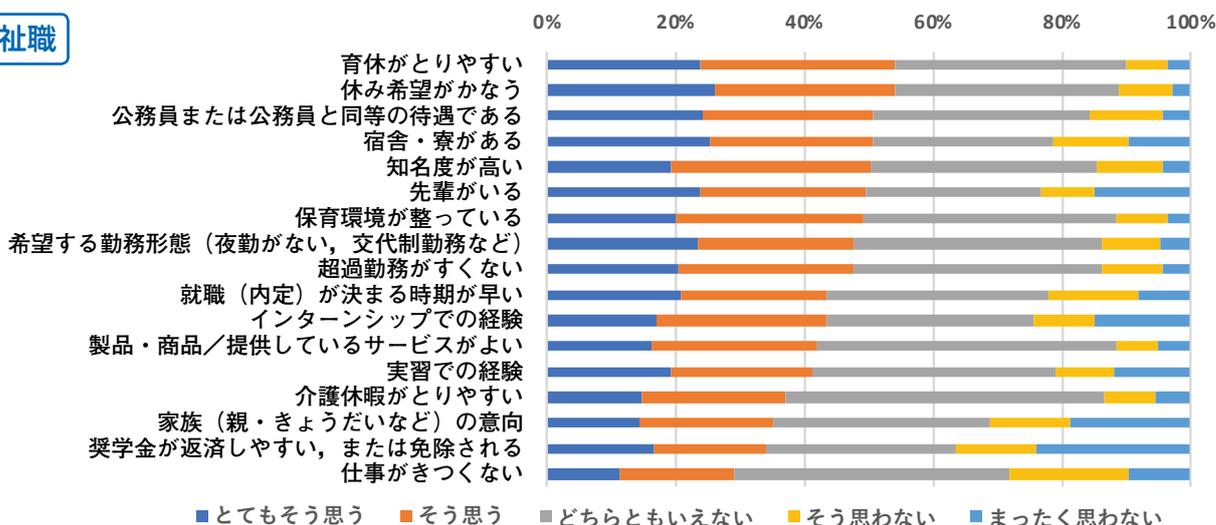


図 16-1 就職先選択で重視したこと 2 (医療・福祉職 n = 534 男 129, 女 401)

栄養関係職

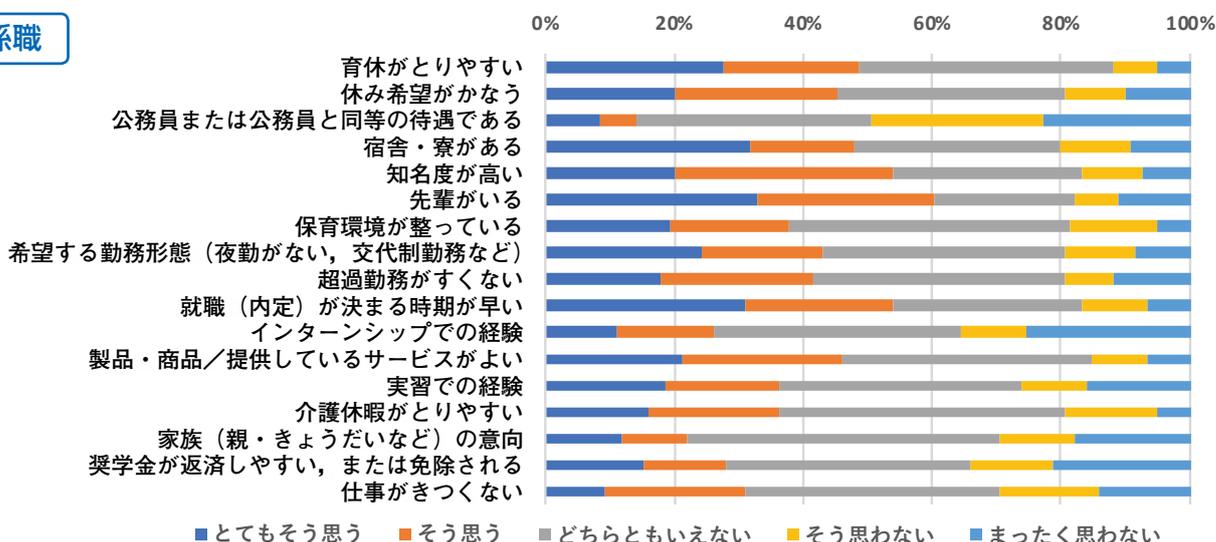


図 16-2 就職先選択で重視したこと 2 (栄養関係職 n = 119 男 4, 女 109)

教育・保育職

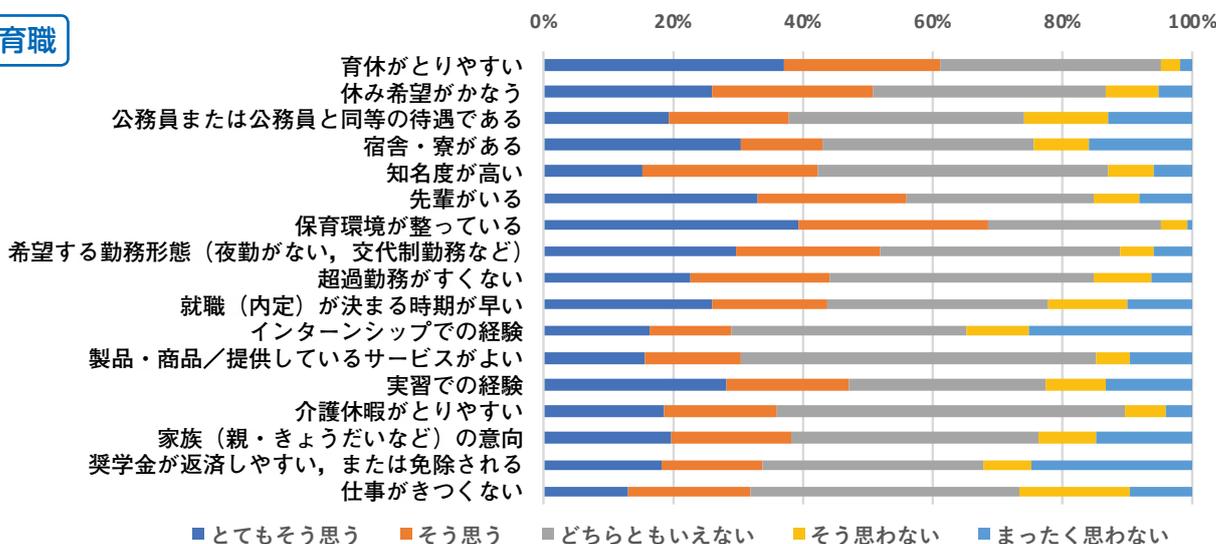


図 16-3 就職先選択で重視したこと 2 (教育・保育職 n = 332 男 27, 女 299)

事務・行政職

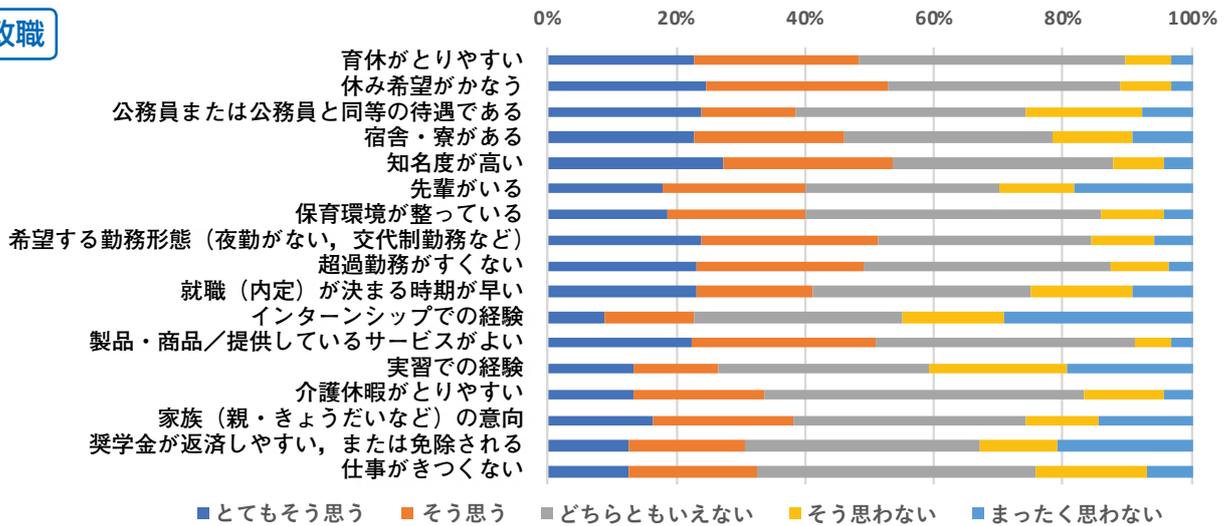


図 16-4 就職先選択で重視したこと 2（事務・行政・サービス職 n = 312 男 160, 女 147）

技術職

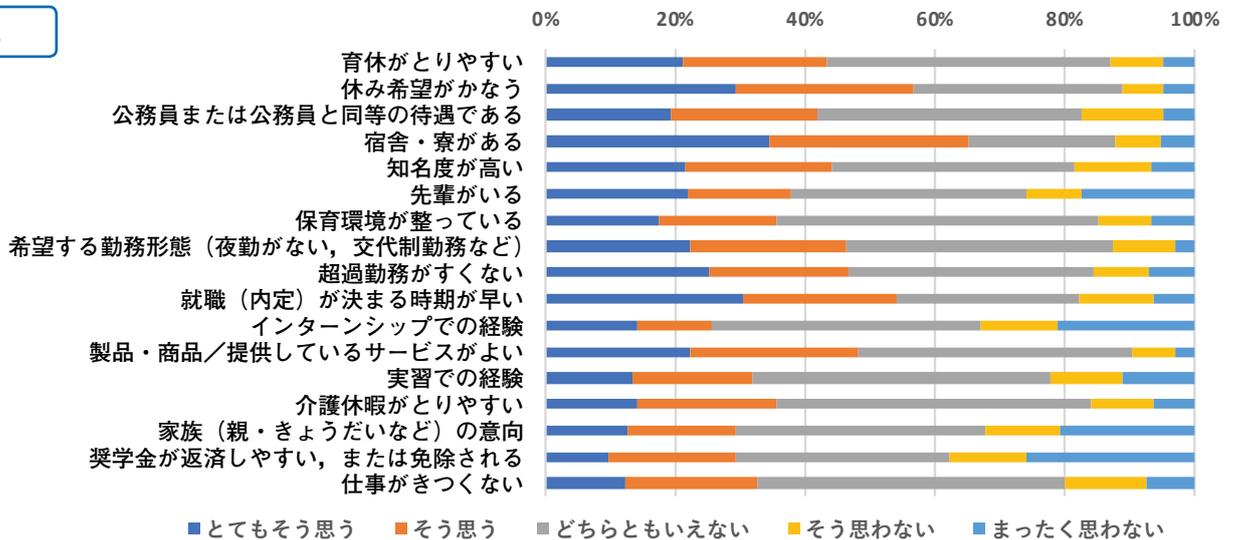


図 16-5 就職先選択で重視したこと 2（技術職 n = 207 男 163, 女 41）

就職先選択において、「仕事がきつくない」「奨学金が返済しやすい」は、いずれもあまり重視されていないようでした。「インターンシップでの経験」も低く、特に事務・行政職，技術職では最も低い項目でした。

教育・保育職は、「インターンシップでの経験」は低いが、「実習での経験」が高くなっていました。また、「育休がとりやすい」「保育環境が整っている」ことを重視している特徴がありました。

技術職は、「宿舎・寮がある」ことを重視していました。

4) 性別で、仕事や生活に対する気持ちが違うの？

性別による考え方の違いは、将来設計では 10 項目中 6 項目、文化・地域に対する価値では 21 項目中 6 項目、人とのつながりでは 13 項目中 7 項目、就職先選択で重視したことで 33 項目中 11 項目で違いがありました。

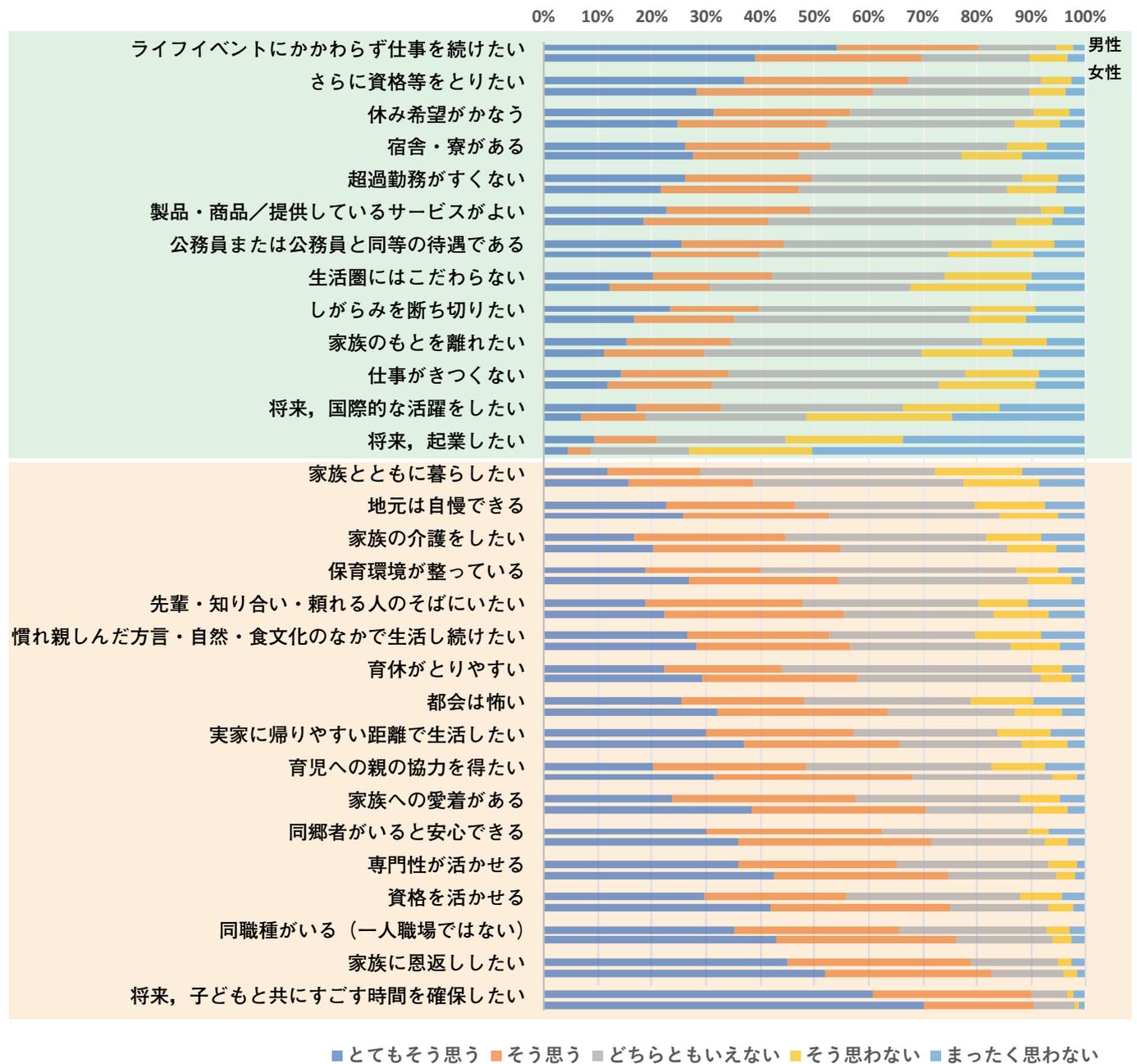


図 17 性別による考え方の違い

5 女性の就業イメージ

女性の就業イメージについて、女性には自分自身のことを、男性には自分のパートナーのことを想定してききました。「ライフイベントがあっても仕事を続けたい／続けてほしい」72.9%、「仕事を辞めたい／辞めてほしい」17.9%でした。女性は、77.8%が仕事を続けたいと考えていましたが、男性は、64.5%でした。

女性の就業イメージの違いにより、仕事や生活についての考え方は、将来設計6項目、文化・地域に対する価値2項目、人とのつながり1項目、就職先選択で重視したこと7項目で違いがありました (p<.05)。

「仕事を辞めてほしい」と考えている男性は、自分の仕事に対する考え方として、「自分の専門性を高めたい」「キャリアアップ支援体制が充実している」「将来性がある」などを強く意識していました。

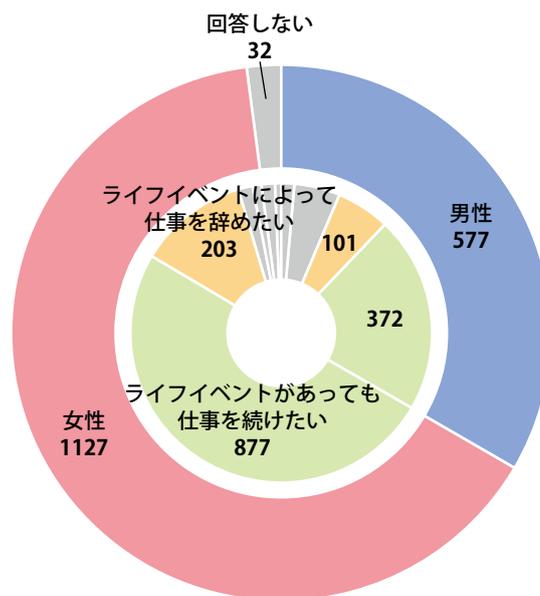


図 18 女性の就業イメージ

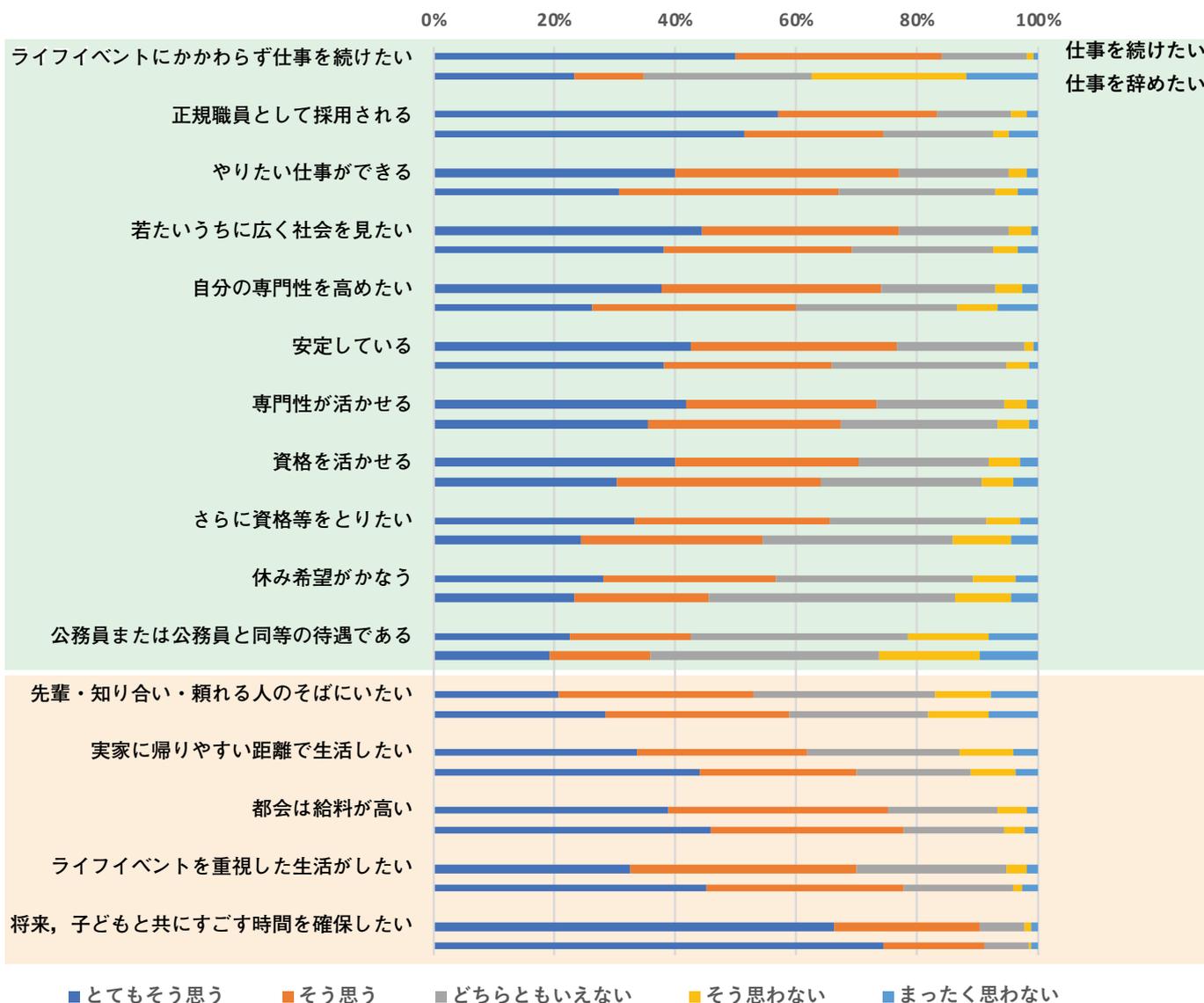


図 19 女性の就業イメージによる考え方の違い



調査概要

調査対象：青森県内の大学等 17 校の最終年次学生 2,847 名

回答者数：1,736 名（回収率 61.1%）

調査内容：基本属性（性別，所属学科等，出身地，就職先所在地），女性の就業イメージ，キャリア・生活指向に関する考え方，就職先選択の際に重視したこと

調査期間：2018 年 2～3 月

調査方法：無記名自記式アンケート調査

回答者の属性

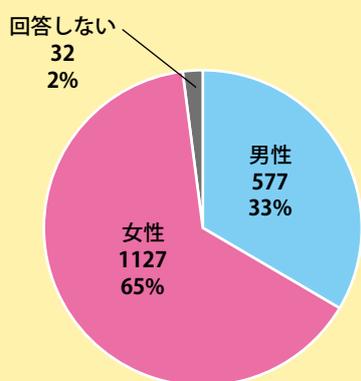


図 20 性別

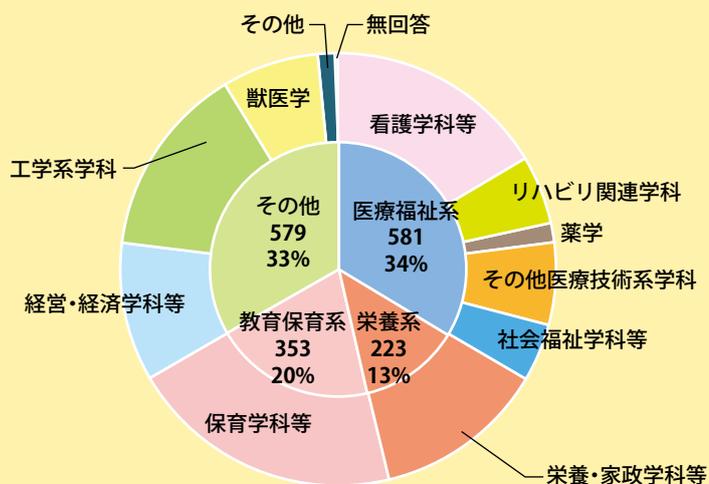


図 21 所属学科等

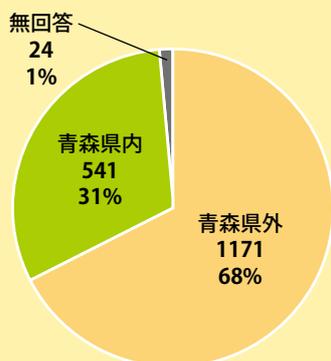


図 22 出身地

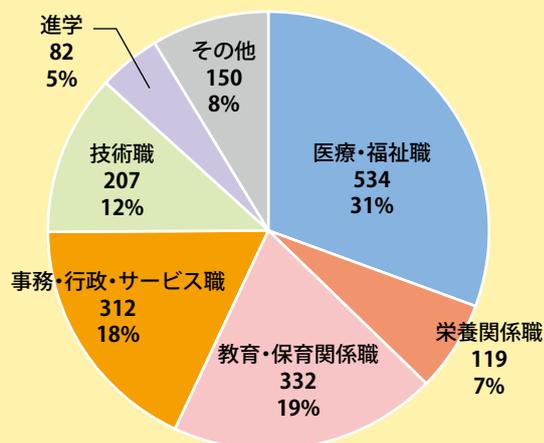


図 23 就職予定の職種

表 1 就職予定の職種

	男性	女性	無回答	合計	n(%)
医療・福祉職	129(24.2)	401(75.1)	4(0.7)	534(35.5)	
栄養関係職	4(3.4)	109(91.6)	6(5.0)	119(7.9)	
教育・保育関係職	27(8.1)	299(90.1)	6(1.8)	332(22.1)	
事務・行政・サービス職	160(51.3)	147(47.1)	5(1.6)	312(20.7)	
技術職	163(78.7)	41(19.8)	3(1.4)	207(13.8)	
合計	483(32.1)	997(66.3)	24(1.6)	1504(100.0)	



青森COC+推進機構 女子学生のキャリア支援WG
2017年度 キャリア・生活指向と就職先選択に関する調査結果

＜女子学生のキャリア支援WG大学＞

- ・青森県立保健大学
- ・青森中央短期大学
- ・東北女子大学
- ・弘前医療福祉大学
- ・弘前学院大学

(五十音順)

＜お問い合わせ＞



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1

TEL:017-765-2144 FAX:017-765-2188

<http://www.auhw.ac.jp>